

1. <施策の概要>

基本構想	未来をひらく文化と環境のまちづくり	統括課	教育部・生涯学習課
基本計画	生涯学習		
施策	歴史	関連課	
方針・目標等	◆住民の町の歴史などに対する興味の上昇 ◆多くの住民が歴史や史跡や寺社仏閣など文化財に親しみをもちたい		
実施内容	◆資料の収集や調査・研究・保存 ◆歴史民俗資料館の建設に向けた取り組み ◆文化財や史跡などに接する機会提供		

2. <指標の設定>

No.	重点	指標	単位	他団体比較		算式・引用等	
				団体名	実績/年度		
①	○	歴史・文化財に関する講演会参加者数	名			寿大学・文化財愛護会調べ	
②		文化財展示会への参加者数	名			生涯学習課調べ	
③							
④							
⑤							
		H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(実績)	H26(試算)	H27(試算)
①	目標	-	60	70	230	230	230
	実績	-	62	210	227		
②	目標	500	500	600	600	600	600
	実績	394	0	677	0		
③	目標						
	実績						
④	目標						
	実績						
⑤	目標						
	実績						

3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

・講習会参加者数が示すとおり、徐々にではあるが、歴史講座に対する住民の関心の高まりを確認することができる。しかし、実施回数に限られていることもあって、まだまだ少数であるため、住民に町の歴史や文化財に興味を持っていただけるよう、講習会や展示会の開催など、町の歴史や文化財に接する機会を増やしていく必要がある。

3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

・歴史講座や文化財見学会等においては、高齢者の参加が多く、若年層の参加が少ない。若年層の興味や関心を引く取り組みを進める必要がある。

4-1. <施策を構成する事業>

	重点	部 門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 <単位：千円>					
			H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(実績)	H26(予算)	H27(試算)
1		生涯学習課	5,118	5,569	6,305	6,503	7,344	7,344
		文化財保護事業	3,744	4,392	4,655	3,530	4,371	4,371
		一般事業 227	3,744	4,392	4,655	3,530	4,371	4,371
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

・指定文化財や、古文書・歴史資料、民俗文化財、埋蔵文化財などの文化財については、保存のための必要な措置を講じることができた。また、調査・研究を進めることにより、その適切な保存を図ることができた。一方、展示等、文化財の活用については、他事業との関係で実施できなかった。

・町内遺跡発掘調査では、個人住宅の建て替えなど工事内容が軽微なものについて、掘削工事の実施時に立会調査を実施した。なお、一定規模以上の開発事業に伴って実施する発掘調査は対象となる開発事業がなかったため、実施する必要がなかった。

5. <施策の今後の方向性>

・文化財の保護については、住民の文化振興を支える資財として、引き続き、地道に資料の整理、調査・研究を進め、確実な保存と、展示会等それに基づく活用を進めていく。

・新たに若年層の興味や関心を引くことができるような歴史講座や展示会などを企画する。